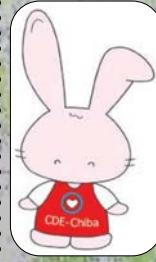


# CDE-CHIBA NEWS LETTER



## 内 容

- ◇ 千葉糖尿病スタッフ研究会
- ◇ 講義：糖尿病スティグマとアドボカシー活動 小谷野 肇 先生
- ◇ CDE-Chiba 情報・予定



No. 6

2023 8  
August

## 『千葉糖尿病スタッフ研究会について』

研究会世話人

東京女子医科大学八千代医療センター 看護師 田中 景子

皆様、はじめまして！ 千葉県内の糖尿病治療・療養に関わる医療スタッフ（看護師や薬剤師等のコメディカル）を対象とした糖尿病の啓発活動を行う、千葉糖尿病教育スタッフ研究会と申します。

【設立の経緯】 1988年、千葉県の糖尿病を専門とする医師や看護学部の先生方が、「千葉県内の医療スタッフの糖尿病ケアの知識・技術のボトムアップが必要だ！」と声を上げ、次の3つを目的に1990年「千葉糖尿病教育スタッフ研究会」を設立いたしました。

- 千葉県の糖尿病医療水準を向上させたい
- 医療者が糖尿病に興味をもってもらいたい
- 患者さんが県内どこに行っても困らないように何とかしたい

\*千葉糖尿病教育スタッフ研究会の指針\*

患者さんの一番身近にいる医療スタッフを大切に！

### 【活動状況】

- 集中講義（年2回） 6月および7月頃に関催  
糖尿病の基本（診断・検査・治療・合併症など）を集中的に講義
- 定例会（年2回） 10月および3月頃に関催  
メインテーマに沿って講演・基調講演の構成による座学

### 【近年の活動動向】

上記勉強会の質を維持しつつ、今後の運営自体が課題となっております。  
千葉県糖尿病対策推進会議にご支援いただき、運営を継続していくよう調整しております。

千葉糖尿病教育スタッフ研究会 事務局

## お問い合わせ

〒260-0026 千葉市中央区千葉港 4-1  
千葉県医師会館内  
(一社) 千葉県糖尿病対策推進会議 事務局



講義

「糖尿病スティグマとアドボカシー活動」

順天堂大学医学部附属浦安病院

内分泌代謝内科学 准教授 小谷野 肇

糖尿病治療の向上により、糖尿病のある人も血糖管理を良好に保つことで、糖尿病をもたない人と変わらない生活を送れるようになったにもかかわらず、糖尿病に対する差別や偏見のために、糖尿病のある人が必要なサービスを受けられなかったり、社会的不利益をこうむったりすることが近年注目されるようになりました。糖尿病のある人が糖尿病のない人と変わらない寿命とQOLを実現するための、疾病の管理とは別の重要な側面です。

## スティグマとは

スティグマ (stigma) は、もともと古代ギリシアで奴隷や犯罪者などを識別するために体に強制的につけた刻印をあらわす言葉で、その刻印のある者の特性にどこか悪いところがあることを人びとに告知するために考えられたとされています。現在では、糖尿病患者のみならず、精神疾患の患者や LGBTQ などの、社会的な弱者に対して「差別」や「偏見」などを含む、広い意味をもつ言葉として用いられます。

日本糖尿病学会では、「スティグマは、特定の属性に対して刻まれる「負の烙印」という意味を持ち、誤った知識や情報が拡散することにより、対象となった者が精神的・物理的に困難な状況に陥ることを指す」としています（『糖尿病治療ガイド2022-2023』、p32）。スティグマを放置することは、個人から社会全体のレベルまで、様々な悪影響をおよぼします。

## 糖尿病スティグマの分類

スティグマを、「社会構造レベルのスティグマ」、「個人レベルのスティグマ」、さらに後者を、「市民のスティグマ」と「自分自身に抱くスティグマ」に分類したり、あるいは「社会的スティグマ」、「乖離的スティグマ」、「自己スティグマ」（田中永昭）に分類したりします。

「社会的スティグマ」は、一般社会から受けるスティグマです。例えば、生命保険に加入できない、就職・転職に不利になる、住宅ローンを断られる、自己管理能力が欠如しているとみなされるなどです。

「自己スティグマ」は自分自身に向けられたスティグマです。自分自身を価値のない人間とみなす、自尊心の低下をさします。「自己スティグマ」では、他者に対する申しわけなさ、自己尊重の低減や自己効力感の低減、および社会的な引きこもりや病気の開示を避けるなどがみられるとされています (Seo & Song)。例えば、宴会や会合に出席しない、糖尿病のことを家族、上司、同僚にも言わない、誰にも相談しない、健診を受けない、何事にも積極的になれないなどです。

「乖離的スティグマ」は、医療者から受けるスティグマです。医療者のもつ模範的な糖尿病患者像と実際の患者との間に、医療者がギャップを感じ、「なぜ治療を拒否するの」、「なぜ間食がやめられないの」、「なぜ運動できないの」などの発言をすると、患者は負の烙印を押されたように感じます。

## 「糖尿病スティグマとアドボカシー活動」

順天堂大学医学部附属浦安病院 内分泌代謝内科学 准教授 小谷野 肇

### アドボカシー活動とは

アドボカシー（advocacy）活動とは、特定の集団や取り組みを支援する活動のことをいいます。糖尿病スティグマを解消して、糖尿病患者の権利を守り、社会的地位を回復させる活動が糖尿病アドボカシー活動です。

個人や医療機関、地域や国、国際的な取り組みなど種々のレベルのアドボカシー活動が、糖尿病スティグマを撲滅するためには有用と考えられています。加藤は具体的な例として、①糖尿病差別の撤廃：学業、就職、運転免許、雇用など、②糖尿病治療薬の入手負担軽減、③糖尿病予防推進、④糖尿病研究への研究費支援、⑤健康格差の是正、⑥治療・科学技術の発展促進、をあげています（加藤光敏，診療研究2022；583：44）

### 糖尿病にまつわる“ことば”を見直すプロジェクト

日本糖尿病協会では、医療現場で習慣的に使われることばの中で、スティグマが生じうる用語を見直すことで、医療現場を起点に糖尿病の負のイメージを一掃し、糖尿病のある人が前向きに治療に取り組む環境を整備するという趣旨で、糖尿病医療用語の言い換えを提案しています（表1）。「糖尿」は侮蔑的なニュアンスを含むことから「糖尿病」へ、「糖尿病患者」を「糖尿病のある人」へ、「療養」を「治療」・「医療」への言い換えを提案しています。

「糖尿病」という病名も、排泄物の名前が含まれており、「高血糖症候群」、あるいは発見者の医師の名前から「アレテウス病」が変更候補となっています。過剰な反応だという意見もありますが、特に意識することなく習慣的に使用している用語でもスティグマの原因とならないか見直すことは意義があると思います。

表1 スティグマをもたらすことばの見直し

見直すべきことば（赤字） —— 置き替えることば（文脈によって使い分ける）

療養指導————治療支援 治療サポート 医療 治療 啓発

指導————支援 教育 相談 アドバイス

糖尿病患者——糖尿病のある人 糖尿病がある人 糖尿病とともに歩む人

血糖コントロール————血糖管理 血糖マネジメント

服薬（注射）コンプライアンス アドヒアランス——服薬（注射）実施率

健康な人と変わらない生活————糖尿病のない人と変わらない

生活習慣病————使用しない 生活習慣病をひと括りにしない

## 医療者にも求められる意識変革

ことばの問題に限らず、患者さんが直面している、あるいは今後直面するだろうスティグマについて考え、医療者の言動がスティグマの契機になっていないか見直してみることが必要です。

合併症の恐ろしさを強調することで、糖尿病のネガティブな面を強調した情報が独り歩きすることにより、社会における糖尿病に対するスティグマが助長されたとも、言えなくはありません。

糖尿病治療の目標である、糖尿病のある人が糖尿病のない人と変わらない寿命とQOLを実現するためには、スティグマを放置せず、アドボカシー活動などを通じてこれを取り除くように努力することが、医療に携わる者に求められています。

### 事務局便り

#### CDE-Chiba認定試験

本年度の千葉県糖尿病療養指導士／支援士（CDE-Chiba）認定試験を  
**10月1日(日)**に行います。

8月より申し込み受付を開始します。

※詳細は千葉県糖尿病対策推進会議 HPをご確認ください。

- ◆試験形式はWeb試験 在宅受験可能です
- ◆受験料 3,000円
- ◆試験前の講義視聴が必須です

ぜひ ご所属先の皆様にも  
ご案内ください！

■対策推進会議 HP の **自習室** に、読み物の掲載が始まりました。



公式LINE



Youtubeチャンネル



公式HP

- SNSへの登録・HPアクセスは、上の二次元コードから！
- 最新の情報や研修会はHPから、重要なものはLINEでもご案内します。YouTube チャンネルは今後アップロードして行きます。

#### 年間の予定

- |                                 |          |     |
|---------------------------------|----------|-----|
| ☆ 千葉県糖尿病対策推進会議夏季学術集会            | 2023年 7月 | 終了  |
| ☆ 第11回 CDE-Chiba 認定試験 (Web)     | 2023年10月 | 1日  |
| ☆ CDE-Chibaフェスティバル 2023         | 2023年10月 | 22日 |
| ☆ 千葉県糖尿病対策推進会議講習会               | 2024年    | 2月  |
| ☆ 第100回 千葉県糖尿病対策推進会議懇話会         | 2024年    | 3月  |
| ☆ CDE-Chiba スキルアップ研修会           | 2024年    | 4月  |
| ☆ ズーム講話 年3回を予定 日程は決まり次第お知らせします。 |          |     |